



STOP! 熱中症 クールワークキャンペーンを実施

厚生労働省は、職場における熱中症予防対策を徹底するため、労働災害防止団体などと連携し、5月から9月まで「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を実施。職場への熱中症予防に関する周知・啓発を行うほか、ポータルサイトを通じて熱中症に関する資料やオンライン講習動画などを発信しています。

熱中症予防に重要な暑さ指標(WBGT)※の把握

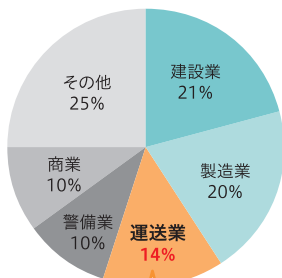
2023年の速報値では、死亡を含む休業4日以上之死傷者数は1,045人、うち死亡者数は28人となっています。業種別に見ると、死傷者数については、全体の約4割が建設業と製造業で発生、次いで運送業が多い状況です。

原因として、多くの事例で暑さ指数(WBGT)を把握せず、熱中症予防のための労働衛生教育も行っていない

でした。また、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病や所見がある事例も見られ、その多くは医師などの意見を踏まえた配慮がなされていなかったことも挙げられます。

※ WBGT: Wet Bulb Globe Temperature 気温に加え、湿度、風速、輻射(放射)熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数。

熱中症による業種別死傷者数の割合
(2019～23年計)



運送業の熱中症による死傷者数は、建設業・製造業に次いで多い

2023年の熱中症による死亡災害の事例 (運送業)

40歳代(気温:31.5℃、暑さ指数:29.3℃)

被災者は午前8時頃から倉庫で荷物のピッキング作業に従事していた。適宜休憩を取りながら作業を続けていたが、11時50分頃に倉庫内で倒れている状態で発見され、保冷剤で首などを冷却したあとに緊急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。



熱中症予防のための情報はこちら

5月から徐々に気温が上がりはじめ、体が暑さに慣れてないことから熱中症の発症につながるおそれがあります。職場で起こる熱中症について、症状や分類、どのような状況で発生しやすいかなどを把握し、従業員の健康管理に努めるようお願いします。